

## 第16期 第3回常任理事会議事録

日時 昭和45年10月5日(月) 15h~18h  
場所 気象庁観測部会議室  
出席者 大田, 関口, 駒林, 大井, 小平, 北川, 神山,  
川村, 関原, 岸保各常任理事  
列席者 窪田長期計画委員長  
中村, 鈴木庶務委員

報告

[庶務]

1. 9月16日第9回宇宙技術および科学の国際シンポジウム準備委員会委員長から1971年5月17~22日平河町日本都市センターで開くシンポジウムへの参加と研究発表の勧誘がきた。申込期限1月31日。
2. 9月21日全理事に、久保田効、長野美文会員を本年度本学会奨励金受領者に選定することの可否について書面審査を依頼し、24名の理事から可の回答があったので10月3日日本人に通知した。
3. 1971年9月6~11日開催の第3回構造物の耐風性に関する国際会議の Preliminary invitation がきた。

[ノート]

特集号「70年代の気象学のあり方」の原稿執筆のお願いを発送中。

[学会賞]

東レ科学振興会の科学技術賞について天気へ公告した。希望者があれば次の常任理事会に提案し決めたい。

[長期計画]

近く委員会を開き、シンポジウムのための最終的なまとめをしたい。

駒林理事から学術会議主催の「70年代の科学をめざしてのシンポジウム」と「公害シンポジウム」に出席した報告があった。

窪田委員長から関西支部、九州支部の予備討論会に関し、次の報告があった。

- (1) 管区の特徴を生かしたもの、例えば大阪では調査課の拡充
- (2) 電計資料の利用方法
- (3) 大気物理研究所設立の推進
- (4) 委員会の態度をはっきりさせ、65年度の改定版を出してほしい。

[正野記念論文集]

申込者38名に執筆依頼した。

印刷費の見積もりをしたところ、450Pで180万であった。

[学術会議]

次期学術会議会員選挙は、46年7月11~25日立候補受付け。11月25日投票

[地物研連]

モスコウでの IUGG 総会シンポジウム題目が決定したので、10月号天気へ公示する。申し込みは45年8月2日~46年1月5日

[放射国際シンポジウム]

当学会の後援という形で学術会議へ申し入れた。

議題

1. 秋季大会の準備について  
予想される事項についてはほぼ準備された。
2. 日本学術会議会員の選挙について  
学会推薦候補の選出方法について論議された。京都における理事会で更に論議する。  
天気11月号に有権者登録を忘れぬよう注意を掲載する。その後の措置についても検討が行なわれた。
3. 気象学長期計画について  
前回に引きつぎ活発な討論がなされた。なお、「ノート」特集の「70年代の気象学のあり方」との調整を要する。
4. その他  
(1) 朝日賞について  
朝日賞候補として山本義一会員を推薦したいが、本人の意向を確かめたいうえで、承諾されれば推薦する。  
(2) 正野記念論文集の自由投稿希望者の取扱いについて  
編集委員会に一任する。  
(3) 大気物理研究所設立推進について  
46年度概算要求は文部省から大蔵省へ提出されなかったもので、この計画を推進するよう、京都の理事会で討議する。

[承認事項]

通常会員前田荘六以下の入会を承認する。